

農作業事故の聞き取りによる詳細調査から得られた事故別対応策

事例

ハウス脇で、バックしながら動力噴霧器で除草剤散布中に転倒。
(左腕骨折・愛媛県 41歳男性)

調査から分かった現場の状況

背負い式動力噴霧機で、ハウスの横をバックしながら、除草剤を散布していた。その際に雨でぬかるんだ土に足を取られて転倒、排水路に転げ落ち、排水路のコンクリートに左腕があたり骨折。
苺ハウスと用水のコンクリート幅は45cm、動噴の重さは8kgであった。動噴容量は20リットル、転倒時の残液は5.6リットルであった。

心に刻もう



現場の写真

背負い式の動力噴霧機による後向き作業は危険

自分で今日から取り組もう

- 常に前向きで作業する。
- 動力散布機や噴霧機は作業中に重心が変化することを忘れない。
- 30kg近い重さを背負っての作業は足場を中心に動きに注意する。

みんなと一緒に取り組もう

- タンクが引っかけたり、つまづきを防止するため、動力散布機、噴霧機を使用する際の周囲環境を整備する。

先人の事故被害を無駄にしないために

ここには、事例に応じた対策を記載していますが、実際には、使用する機械や道具の状態、ほ場や農道の状況によって、現場に応じた様々な対応策が考えられます。地域における農作業事故根絶に向けて、どのような取組がもっとも効果的か、地域の皆様で継続して検討していきましょう。



この他にも農作業安全情報をHPに掲載！

農水省 農作業安全

検索